

『風は南から』

令和5年度 校長室便り
(11月 1日)(第15号)



心のコップをきちんと立てる

2学期は沖高教育振興事業の予算をいただいて、多くの講演会が実施されています。講演を聞くと、いろいろな新しい考え方や観点が得られて、自分の視野が広がる気がします。ただ受け取る側に意識がないと、何も残りません。藤尾秀昭氏は、「心のコップが倒れたらひっくり返ったりしては、いくら水を注いでもこぼれるばかりである」と言っています。心のコップを立てている人は、外からの色々な情報がたまっていきます。そして、これは自分を変えるよいチャンスだと思えば、その瞬間から行動することが大切です。藤尾氏は、「決意すること。小さなことでもいい。小さなよきことを決意する。そこから運命の歯車は回転していく」と言っています。講演等を聞いて、「やるか、やらないか」は自分で決意して、行動しなければなりませんね。

10月19日(木)

「キャリアアップセミナー」



講師に、株式会社ベネッセコーポレーションより長義様に来ていただき、「希望進路実現に向けて」というテーマで、1・2年生を対象に講演をしていただきました。長さんは、大島高校のご出身で一浪されて九州大学理学部、そして同大学院に進学されています。同じ奄美群島出身ということで、話の内容も含めて、身近に感じられたのではないのでしょうか。当日は、ご自分の浪人した経験から、苦手教科の克服等、具体的なお話が多かったと思います。最後に講演を聞いて「やるか、やらないか、これに尽きる」というメッセージを残されました。

感想を紹介いたします。
・講話の中であった勉強にふさわしい環境作りと苦手克服までの道筋は、自分にとって見つめ直す必要があると思います。共通テストまで残り1年と100日を切ったということで、段々と日にちが迫ってきて、焦りが出てくるころですが、まずは自分に合った勉強スタイルを確認し、苦手を分解しコツコツ学んでいこうと思いました。実際に講師の先生が体験したことや具体的な数字が出された様々な表・グラフ、大学の先の就職の学びについての話を聞いて、私にはするべきことがたくさんあるなと感じましたし、改めて勉強の継続の必要性や自分のためになる勉強の大切さを考えるきっかけとなりました。(2年)

部活動 新人大会 結果報告!

- (サッカー部) 地区新人大会 優勝
- (ボクシング部) 県新人大会 団体3位
- ・ライト級2位 森 香奈太さん(2-2)
- ・フライ級優勝 三島 雄生さん(1-2)
- ・フライ級3位 永山 裕真さん(1-3)

※ボクシング部の森さんと三島さんは、11月17~18日に長崎県で開催される九州大会に出場する予定です。ぜひ頑張ってきてください。

10月23日(月) 学科集会



学科集会は、普通科と商業科に分かれて実施されます。23日(月)は商業科の学科集会に参加しました。1年生から3年生まで一堂に会し、3年生より受験報告がなされました。

現段階で、3年商業科は8割の生徒が受験が終わり、2割の生徒が受験の準備をしているようです。受験を終えた3年生の中で、

学校求人を利用して就職を決めた人、公務員(自衛隊)を受験した人、専門学校のア0入試で受験した人が、それぞれ体験を語ってくれました。

1・2年生で就職を希望している人は、実際どんな求人があるのか、今年の求人票を確認しておくこと、公務員試験は一般常識に関する試験があるため、普通教科の授業を大切にすること、専門学校のA0入試は、自分をどのようにアピールするかが大切であること等のアドバイスがありました。

体験を語ってくれたどの3年生も早くから自分の志望先を決めて、準備することが大切だと強調していました。1・2年生は、1・2年後の今頃、自分は何をしているのか想像しながら、早めに行動することが重要です。有意義な会になりました。

10月24日(火) 薬物乱用防止教室

24日のLHRを利用して、「薬物乱用防止教室」を実施しました。講師に、福岡県にある第一薬科大学の清水典史准教授をお招きして、「乱用薬物はなぜ危険?薬学の観点から考えてみよう」というテーマで講演をしていただきました。

現在、覚醒剤取締法の違反者は、1年間で7,920人で40~50代の人が多く、大麻取締法の違反者は、5,783人で20代が最も多く、増加傾向にあるということでした。その後、薬物の種類やそれぞれが体にも与える影響、そして依存の恐ろしさについて、薬学的な観点から詳しく説明していただきました。

「もし誘われたら、短く、明確な言葉で、はっきりと拒否を示すことが重要である。それでも断れない状況であれば、勇気を持って「その場から逃げる」ことが大切だと教えていただきました。



「台湾研修を終えて」

高瀬三菜美さん(1-3)が9月25日から29日まで、5泊6日の台湾研修に参加しました。本年度から始まった「教室から世界へ!かごしまグローバルクラスルーム」事業の一環で、指定校4校のそれぞれ代表者1名が参加した研修です。不安と楽しみが入り混ざった思いで、福岡空港から夜の便で台湾に向かい、飛行機から見た夜景がとてもきれいだったそうです。2日目は、「TSMC」という半導体の会社の見学と、台湾に仕事や留学で来ている日本人との交流。3・4日目は、台湾の高校生との交流。英語で鹿児島を紹介をしたり、音楽の授業を受けたり、一緒に市内観光やお菓子作りをしたりすることで、お互いに仲良くなれたそうです。5日目は、「忠烈祠」で衛兵の交代式を見学し、千と千尋の神隠しの舞台として有名な「九份」へ行き、「十分」では、願いを込めてランタンを上げたそうです。「もっと他の国の人たちとコミュニケーションを図るために、英語の勉強などを頑張り、もっと自分の中で自信をつけられるようにしたいです」と話してくれました。